



愛犬が自由に遊べる空間。 愛犬家だから分かる工夫。

N様のマイホームには、愛犬のための工夫がたくさん詰まっていますが、中でも特徴的な工夫の1つに「屋上ドッグラン」が挙げられます。愛犬家のご主人のご要望で、なんと、屋上に「天然芝」の大きなドッグランを造ってしまいました。木造住宅の屋上に天然芝の庭園を造ることは容易ではなく、特別な施工が必要となります。

しかし、そのメリットはとても多く、愛犬が「いつでも自由に走り回ることができる」こと、散歩に行けない日でもドッグランで走り回ることによって愛犬のストレスも軽減できます。また、ペットの尿などの臭いは下から上に上がっていくため、屋上で尿をしても周辺に臭いが広がらず、上空へと抜けていくのでご近所への配慮もできるようになっています。

また、1階テラスの工夫では「目隠し」をすることで、お隣さんにも配慮しました。

愛犬の暮らしやすさにも、近隣の方への配慮もしっかり考えた、愛犬家ならではの工夫がいっぱい詰まったマイホームになりました。



目隠しができてからいびき吠え
しなくなった!!



N様のストーリー

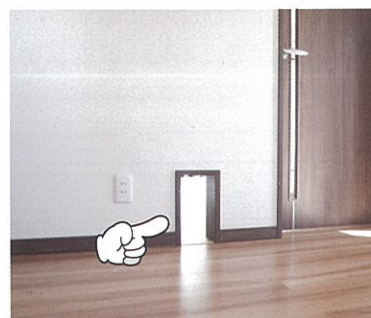
「愛犬にとって健康的で暮らしやすい家」 そして、自分たちも暮らしやすい家を考えました。

N様の家づくりは、まさに「愛犬のための家づくり」となりました。元々暮らしていたお家は、犬と安心して暮らせる家ではありませんでした。たとえば「板と板の隙間に爪を引っ掛けてしまうことがあり、爪が剥がれてしまう」、「階段を登ることは出来るが、降りてくるときは滑ってしまうので降りられないことがある」、「床が滑りやすく歩きづらそう」といったことに悩まされていたそうです。また、外出時にお留守番をさせる際にはケージに入れていたようですが、地震の際、そのケージにタンス上の荷物が落ちてきて埋もれてしまったこともあったそうです。

ご自身のご要望としては、部屋が古く狭くなってしまったこと、家事導線の使い

勝手が悪いということで、新しい家を建てようということになりました。

N様ご夫婦は相当の愛犬家ということもあり、愛犬のためのアイデアや間取りのちょっとした工夫のポイントもご自身で考えられました。右の写真は工夫のホンの一部ですが、2階の吹抜けに面した廊下では、ホンの少しだけ立ち上がりをつけて、おっちょこちょいな愛犬が誤って転落しないようにする工夫や、ストレスなく家中を走り回れるようにしてあげるために、各部屋のドアとは別に、愛犬だけが通れる小さな通路を作り、いつでもどこでも行きたいところへいけるようにしてあげるといった工夫など「愛犬家だから分かる」アイデアが随所に見られます。



「ドッグランでBBQも楽しめる!」 家事導線もしっかり考えた、私たちにもうれしいお家に。

家づくりをスタートするときから建てる会社は決めていたというN様。愛犬のための家づくりということで、自分たちの中にしっかり「イメージ」を持って打合せに臨みました。そんなN様の「家を建てた後の感想」をご紹介します。

「屋上にドッグランを作りたい!という思いにもしっかり応えてくれて、今では愛犬のドッグランとしてだけではなく、私たちの憩いの場になっています」とN様。実は、木造住宅の屋上に天然芝を敷き詰めるということは、土壌や水分など、家に負担をかける「重み」が問題になってきます。普通の施工方法では、作ることは出来ても、何年も荷重に耐えることは困難なのです。そんな要望にも「専門家」を探してアドバイスを求めたりと、徹底的に調べ、負荷の少ない作り方で実現してくれました。

また、愛犬のためのアイデアはたくさん持っていたのですが、「自分たちの暮らしやすさを両立させるアイデア、間取りの工夫」はあまり持ってなく、「現場監督さんがいろんなアドバイスをしてくれたことも本当にうれしかったです。棚の位置や高さなども自分に合うように親身になって対応してくれたり、家事導線なども過去の物件で培ってきたノウハウをたくさん教えてくれて、私たちの家でも『ここはこうした方が使い易かも知れませんか!』といったアドバイスをくれてうれしかったです」とのこと。

愛犬にも近隣住民にも、そしてN様ご家族の暮らしにとっても満足できる、良いこと尽くしの「健康的な愛犬家のお家」が出来上がりました。

設計・愛犬家住宅コーディネーター 小野田 強 (認定番号: 16072293)



愛犬と幸せに暮らす 住まいの本

A5判製・128ページ(オールカラー) 定価: 本体1,500円+税
愛犬家住宅[編] PHP研究所[刊]

「床の滑り」「ニオイ」「キズ・汚れ」...
だけじゃない!



家づくりのヒントとなる21の事例を紹介

